



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場会社名 三菱化工機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6331 URL <http://www.kakoki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高木 紀一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山口 和也 TEL 044-333-5354  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,752	9.7	347	109.3	23	△92.0	△70	—
27年3月期第2四半期	13,449	△23.6	166	—	291	—	201	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △430百万円（-％） 27年3月期第2四半期 844百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.89	—
27年3月期第2四半期	2.54	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	40,100	15,931	39.7	201.51
27年3月期	45,225	16,757	37.1	211.96

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 15,931百万円 27年3月期 16,757百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	12.2	1,500	△11.3	1,250	△39.6	1,070	△47.1	13.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期2Q	79,139,500株	27年3月期	79,139,500株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	79,294株	27年3月期	77,723株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	79,060,936株	27年3月期2Q	79,062,123株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当上期のわが国経済は、政府・日本銀行による各種政策を背景に企業収益や雇用・所得環境は改善しましたが、中国や新興国をはじめとする海外景気の減速を背景に企業の生産活動や輸出が弱まり、民間設備投資及び個人消費が伸び悩む等、景気は足踏み状態で推移しました。

このような事業環境の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、14,752百万円と前年同四半期に比べ9.7%の増加となりました。損益面におきましては、売上高の増加による売上総利益の増加により、当第2四半期連結累計期間における営業利益は前年同四半期に比べ109.3%増の347百万円となりましたが、保有する外貨建て資産に対する為替差損により経常利益は前年同四半期に比べ92.0%減の23百万円となり、法人税、住民税及び事業税、並びに法人税等調整額を減算後の親会社株主に帰属する四半期純損失は70百万円（前年同四半期は201百万円の利益）となりました。

なお、当社グループでは、売上高が上半期に比べ下半期に、また、第2四半期連結会計期間末及び連結会計年度末に偏る傾向があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

エンジニアリング事業については、売上高8,825百万円（前年同四半期比16.0%増加）、経常損失701百万円（前年同四半期は329百万円の損失）となりました。

単体機械事業については、売上高5,926百万円（前年同四半期比1.4%増加）、経常利益725百万円（前年同四半期比16.7%増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5,124百万円減少の40,100百万円となりました。これは、仕掛品の増加404百万円等がありました。株価下落に伴う時価のある有価証券の評価差額の減少等による投資有価証券の減少1,052百万円、借入金を圧縮したことによる現金及び預金の減少1,875百万円、受取手形及び売掛金の減少1,942百万円等の影響によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,298百万円減少の24,169百万円となりました。これは、前受金の増加1,362百万円等がありました。短期借入金の減少1,000百万円、支払手形及び買掛金の減少3,241百万円等の影響によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ826百万円減少の15,931百万円となりました。これは、主として配当金の支払による利益剰余金の減少465百万円、その他有価証券評価差額金の減少726百万円等の影響によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動、固定資産の取得、借入金の返済及び配当金の支払等に資金を使用した結果、1,875百万円の減少となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は、141百万円となりました。これは、売上債権の減少1,941百万円、前受金の増加1,363百万円、税金等調整前四半期純利益の計上23百万円、減価償却費の計上293百万円等により資金が増加いたしました。仕入債務の減少3,233百万円、たな卸資産の増加488百万円、前渡金の増加624百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、193百万円となりました。これは、主に固定資産の取得189百万円により資金が減少したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、1,404百万円となりました。これは、短期借入金の純減少額1,000百万円、配当金の支払額395百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済動向につきましては、景気が緩やかな回復に向かうことが期待されますが、海外景気の減速懸念に伴い先行き不透明感が強まっていることにより、企業の業況判断は慎重さを増しており、民間設備投資及び個人消費回復の動きは鈍く、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと見込まれます。

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び上記の経済動向を鑑み、平成27年5月15日に公表した平成28年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成27年10月30日）公表いたしました「平成28年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分割等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,557	5,682
受取手形及び売掛金	15,884	13,941
製品	751	759
仕掛品	1,757	2,162
材料貯蔵品	833	909
その他	2,518	1,865
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	29,301	25,320
固定資産		
有形固定資産	4,890	4,859
無形固定資産	416	361
投資その他の資産		
投資有価証券	10,412	9,359
その他	211	206
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	10,616	9,559
固定資産合計	15,924	14,780
資産合計	45,225	40,100
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,708	7,466
短期借入金	4,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	527	527
未払法人税等	153	18
前受金	749	2,111
賞与引当金	547	502
完成工事補償引当金	119	117
受注工事損失引当金	1	57
その他	1,331	634
流動負債合計	18,137	14,436
固定負債		
長期借入金	1,200	1,200
役員退職慰労引当金	213	81
P C B 処理引当金	17	17
退職給付に係る負債	7,123	6,956
その他	1,776	1,478
固定負債合計	10,330	9,733
負債合計	28,467	24,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,956	3,956
資本剰余金	4,202	4,202
利益剰余金	6,673	6,208
自己株式	△17	△18
株主資本合計	14,815	14,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,009	3,283
繰延ヘッジ損益	-	6
為替換算調整勘定	△303	△139
退職給付に係る調整累計額	△1,763	△1,569
その他の包括利益累計額合計	1,941	1,581
純資産合計	16,757	15,931
負債純資産合計	45,225	40,100

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	13,449	14,752
売上原価	10,919	11,950
売上総利益	2,529	2,801
販売費及び一般管理費	2,363	2,453
営業利益	166	347
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	110	116
その他	121	13
営業外収益合計	233	130
営業外費用		
支払利息	57	23
支払手数料	27	33
為替差損	—	382
その他	22	15
営業外費用合計	107	454
経常利益	291	23
税金等調整前四半期純利益	291	23
法人税、住民税及び事業税	31	26
法人税等調整額	58	67
法人税等合計	90	93
四半期純利益又は四半期純損失(△)	201	△70
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	201	△70



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	201	△70
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	552	△726
繰延ヘッジ損益	—	6
為替換算調整勘定	△94	164
退職給付に係る調整額	184	194
その他の包括利益合計	643	△360
四半期包括利益	844	△430
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	844	△430
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	291	23
減価償却費	292	293
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	△44
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△6
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△86	△2
受注工事損失引当金の増減額 (△は減少)	0	56
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△63	△131
P C B 処理引当金の増減額 (△は減少)	△3	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△89	27
受取利息及び受取配当金	△111	△117
支払利息	57	23
為替差損益 (△は益)	△105	294
売上債権の増減額 (△は増加)	929	1,941
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△397	△488
前渡金の増減額 (△は増加)	△163	△624
仕入債務の増減額 (△は減少)	△730	△3,233
前受金の増減額 (△は減少)	684	1,363
その他	△340	524
小計	159	△102
利息及び配当金の受取額	111	117
利息の支払額	△57	△23
法人税等の支払額	△30	△132
営業活動によるキャッシュ・フロー	183	△141
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△108	△189
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
長期貸付けによる支出	—	△2
長期貸付金の回収による収入	8	1
その他	8	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95	△193
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000	△1,000
リース債務の返済による支出	△7	△8
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	—	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,007	△1,404
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△135
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,903	△1,875
現金及び現金同等物の期首残高	8,553	7,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,650	5,681

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	7,605	5,843	13,449
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,605	5,843	13,449
セグメント利益（△は損失） （経常利益（△は損失））	△329	621	291

- II 当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	8,825	5,926	14,752
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,825	5,926	14,752
セグメント利益（△は損失） （経常利益（△は損失））	△701	725	23